

# 感染症 ひとくち情報

## 手足口病が流行しています



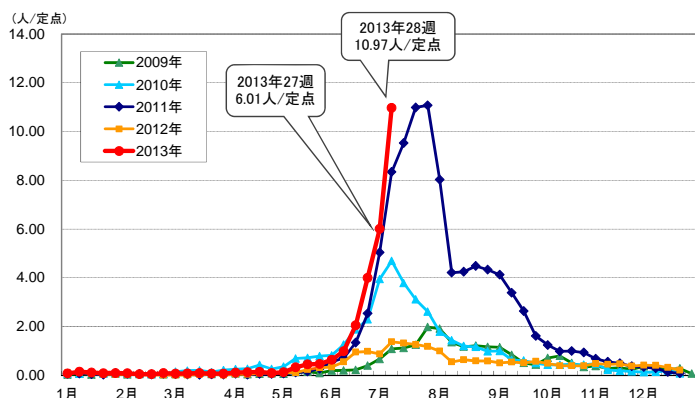
2013年7月19日  
東京都健康安全研究センター

### 1 手足口病の発生状況（7月14日まで）

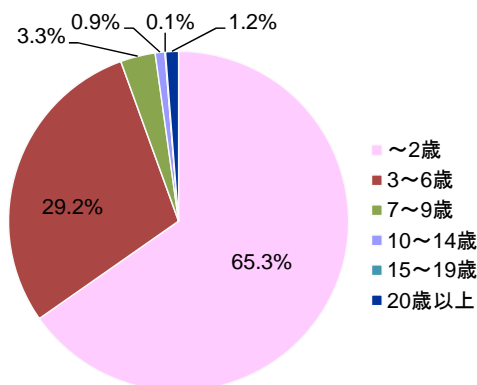
毎年夏に流行する子供の感染症である手足口病の患者報告数が増加しています。都内の小児科**定点医療機関\***からの第27週(7月1日～7日)の患者報告数が**警報基準\*\***を超え、第28週(7月8日～14日)ではさらに**急増**しています。今後、患者数のさらなる増加が見込まれます。手足口病の患者の約9割は、6歳以下の小児で、このうち2/3が2歳以下となっています。

**\*定点医療機関:**患者数が多数で、全数を把握する必要がない疾患は、東京都が指定した医療機関が患者の発生状況を報告することになっています。小児科定点は264か所が指定されています。  
**\*\*警報基準:**定点あたり患者報告数が基準値である5.0人(／週)を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都全体の人口の30%を超えた場合(都内の広い地域で流行状況となっている)

患者報告数の推移（2009年～2013年）



年齢別患者報告数（2013年）



### 2 手足口病とは

手足口病は、口の中・手・足を中心に出る水泡性の発しんが出る、急性のウイルス感染症です。2～7日(平均3日)の潜伏期間の後、口の粘膜・手のひら・足の裏などに2～3mmの水泡性の発しんが出ます。その他に発熱(38度以下)や食欲不振、のどの痛みなどが見られますが一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。

重症化することはまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があげられます。

### 3 予防のポイントは

- こまめな手洗いを習慣づけましょう(手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防策です)
- 症状がおさまった後も2～4週間、便などにウイルスが排泄されます
- 普段からトイレの後、オムツ交換後の手洗いを徹底しましょう
- 幼稚園、保育園など集団生活ではタオルの共用を避けましょう
- お子さんが理解できる範囲で咳エチケットを心がけましょう(人に向けてくしゃみをしないなど)

\* 東京都感染症情報センターの「手足口病の流行状況」のページもご参照ください。

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/handfootmouth/>

